

朝採り+ぶらす

■整腸作用のトクホ商品キャンペーン

カンロは、特定保健用食品(トクホ)の「おいしいオリゴ糖」を発売した。腸内のビフィズス菌を増やし、おなかの調子を整える「ガラクトオリゴ糖」を濃縮して配合。濃厚なヨーグルト味に仕上げ、手軽に食べられるようにした。カンロとして初のトクホ商品。42g(14粒)入りで参考価格は298円。問い合わせは通話無料のカスタマーセンター☎0120・880422へ。

■コンタクト使用者向け目薬
ルート製薬はコンタクトレンズ使用者向けの目薬「Vルート コンタクトプレミアム」を発売した。レンズの乾きによる涙液減少や摩擦による角膜ダメージなどに効果があるピタミナなどを配合。コンタクトの長時間装着による目の疲れを治す。15ml入りで希望小売価格は1650円。問い合わせはお客さま安心サポートデスク☎06・6758・1230へ。

■マカダミアナッツの飲料

キッコーマン飲料は、マカダミアナッツを使った飲料「キッコーマン マカダミアミルク オリジナル」を発売した。オーストラリア産のナッツを使用し、ビタミンBや食物繊維を配合。甘さを加え、まろやかな味わいに仕上げた。希望小売価格は200ml紙パック入りで139円。問い合わせは通話無料のお客さま係☎0120・121288へ。



キッコーマン飲料は、マカダミアナッツを使った飲料「キッコーマン マカダミアミルク オリジナル」を発売した。オーストラリア産のナッツを使用し、ビタミンBや食物繊維を配合。甘さを加え、まろやかな味わいに仕上げた。希望小売価格は200ml紙パック入りで139円。問い合わせは通話無料のお客さま係☎0120・121288へ。

地域面から

■「心身温まる」ニセコ産ジンジャーピア

【倶知安】後志管内倶知安町の企業「アリスピア」が道内各地で販売。年内には中国にも出荷する見通しだ。



日本グランデが神奈川県厚木市に建設するマンションのイメージ図(同社提供)

分譲マンション 神奈川県に第1弾

日本グランデ 首都圏進出

マンション企画販売の日本グランデ(札幌)が、首都圏での分譲マンション事業に乗り出す。第1弾は神奈川県厚木市に建設し、今月下旬にも販売を始める。コロナ禍を受け、炭を活用した換気設備や非接触型開錠システムなど、同社マンションの強みに勝機があると判断した。今後も1棟の建設、販売を目指す。札幌のマンション業界に詳しい住宅流通研究所関係者は「分譲マンションによる、道内の分譲マンション開発企業の首都圏進出は珍しい」という。

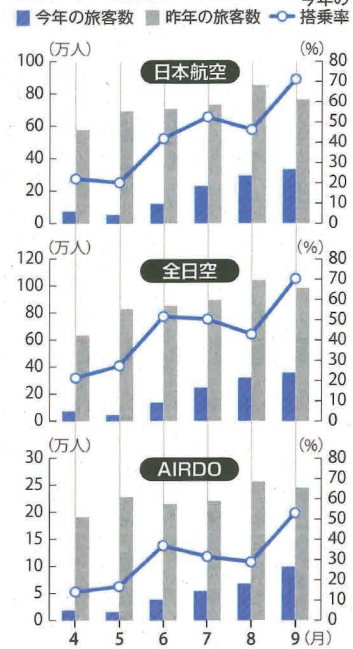
第1弾は土屋ホーム不動産(同)と共同販売する「グランデ アール本厚木レジエントスクエア」で、鉄骨コンクリート造り10階建て、1〜4LDKの計41戸。厚木市内にモデルルームを開業し、11月上旬に着工する。2022年1月の完成予定で、販売価格は未定。日本グランデは03年設立で、19年6月に札幌証券取引所の新興企業向け市場「アドビヤス」に上場。札幌市内で37棟(1820戸)の

分譲マンションを展開する。天井裏に炭を敷き詰め、強制的に給排気して清浄な空気を保つ換気設備で特許を取得。非接触技術を活用し、スマートフォンをかざすだけで玄関や宅配ボックスの開錠、エレベーターの操作ができるシステムを大半の物件で導入している。札幌市内の新築マンションは分譲価格が高止まりし、マンション用地も減少。このため同社は07年に東京支店を開設し、首都圏進出に向けて情報収集を続けていた。平野雅博社長は「首都圏は競争が激しいが、パイも大きい。換気と非接触に特化したマンションで差別化を図る」と意気込む。(佐垣 尚)

菜食主義者らをもてなすには 19日からセミナー

北海道観光振興機構は19日から、高齢者や障害者、菜食主義者(ベジタリアン)、イスラム教徒の受け入れについて、観光事業者らに学んでもらうセミナーを開催する。19日のオホーツク管内斜里町を皮切りに11月5日まで4会場で開催。民間資格「観光介助士」を認定する日

主要3社の旅客数と搭乗率



3社が毎月発表している。では、日本航空が74%減の111万1780人(平均搭乗率42.4%)、提供座席数は53%減の244万218席。全日空は77%減の118万1779人(同44.0%)、提供座席数は63%減の117万人に落ち込んだ。

10月以降 復調見通せず

日本航空、全日空、AIRDO(エア・ドゥ)の航空3社が4~9月に運航した道内発着便の旅客数は、前年同期比76%減の計258万8110人だった。国の緊急事態宣言や外出自粛などで航空需要が大幅に落ち込んだため、この半年間だけで前年同期より83.1万6千人減った。コロナ禍で経済活動を支える人の往来が極端に停滞していることが改めて浮き彫りになった。(徳永 七)

道内発着便旅客76%減

コロナ禍 往来停滞

搭乗率42.4%)、提供座席数は53%減の244万218席。全日空は77%減の118万1779人(同44.0%)、提供座席数は63%減の117万人に落ち込んだ。10月は4連休の観光需要などもあり、搭乗率は日本航空が71.2%、全日空が70.3%、エア・ドゥが53.1%まで回復したが、各社とも3~4割ほど減便した中で搭乗率などの通常時には遠く及ばない(航空関係者)という。日本航空は、8月の搭乗率も20~40%台にとどまった。

10月は4連休の観光需要などもあり、搭乗率は日本航空が71.2%、全日空が70.3%、エア・ドゥが53.1%まで回復したが、各社とも3~4割ほど減便した中で搭乗率などの通常時には遠く及ばない(航空関係者)という。日本航空は、8月の搭乗率も20~40%台にとどまった。

全日空 労組に提案

全日本空輸が一般社団法人「オトリバレル」京発着も加わったが、見えて予約数が増えているわけではない。道外から空の担当者は10月か

全日本空輸が一般社団法人「オトリバレル」京発着も加わったが、見えて予約数が増えているわけではない。道外から空の担当者は10月か